

清流ニュース

発行所
八王子市子安町 1-22-25
清流寺
清流ニュース編集室
電話(042)646-0287(代)
FAX(042)644-1164
<http://seiryuji.jp.org/>

平成三十年度総祈願
高祖日蓮大士ご降誕八百年慶讃
教化・法灯相續・つづれ織り運動推進
創建七十周年記念事業御有志奉納成就之御願
教務員増強・役中後継者養成
教区再編・御奉公成就

ご出座の御教務方による総回
向がお修まりになります。
朝参詣強調週間
七月二日～六日
第四、第五ブロックと国分寺

七月の御総講日

一日 十時 御修行日
七日 十時 パースデー総講
日序上人報恩祈念

十三日 十時 高祖御命日
門祖御命日
廿五日 九時半 於 清流寺

十二日 十時 高祖御逮夜
門祖御逮夜
廿四日 十時 於 羽村別院

廿日 十時 於 羽村別院

特別行事

廿九日 午前十時三十分 始
佛立開導日扇聖人御正当会

奉修御導師

妙恩寺 深澤堅洋御住職

会議

一日 御総講後 役中会議

廿二日 午後一時 参事会

廿五日 御総講後 ブロック長会議

7 月 29 日
10 時 30 分

佛立開導日扇聖人御正当会 支庁巡教 東京房総布教区長 妙恩寺・深澤堅洋御住職

本年度の御正当会式(開導

会)は、支庁巡教として奉修

されます。

奉修導師は、千葉・東金・

妙恩寺のご住職、深澤堅洋講

師です。

深澤ご住職は、現在、東京

房総布教区の布教区長として

管内十ヶ寺の先頭に立ってご

奉公されていますが、過去に

は、第五支庁の次長として、

支庁長を補佐するお役も歴任

されております。

〔巡教の種類〕

ご巡教には、大きく分けて

本山巡教と地方巡教の二つが

あります。

本山巡教は、ご講有上人を

お迎えして奉修させていた

きます。

地方巡教は、支庁巡教と、

法類巡教があり、支庁管内の

ご住職が奉修される支庁巡教

と、門末関係内のご住職がお

勤めになる法類巡教がありま

す。この度は、第五宗務支庁

身命但惜無上道」と説かれて

あります。御弘通という「人

を助ける為」には、自分の生

命さえ惜しくないという御信

心になれば、そこに成仏があ

り、そういう御信心に御利益

があるというので、「懈怠の

念をおこしてはならぬ」と示

されるのであります。

涅槃経には、「身軽法重死身

弘法」と説かれてあります。

このお経文通りの心で日々

の御信心御奉公が出来ればよ

いのですが、とかく凡夫の信

心は自ら戒めていないと形ど

同帰亭要語録

懈怠をつゝしむ



此等の禁しめを背く重罪

は、目に見えざれども、積り

て地獄に墮つる事、譬へば寒

熱の姿、形もなく、眼には見

えざれども冬は寒来りて、草

木人蓄をせめ夏は熱来りて、

人畜熱惱せしむるが如くなる

べし。(松野殿御返事)

「此等の禁しめ」というのは

懈怠の念を起してはならぬと

いうことです。

苟も信心が大事と思うもの

は、「いのちにかえても是を

まもる」のがふつうで、その

ためには自分の生命すら惜し

くないという心になるのが、

いちばん強い信心ということ

になるわけで、法華経の如来

壽量品には、「不自信身命」と

説かれ、勸持品には、「我不愛

管内のご住職のご奉修をい
たゞぎますから支庁巡教とい
うことになります。
さて、御正当会(開導会)
は、佛立開導日扇聖人の大恩
報謝の志を、一座のご法要を
奉修させていただくことによ
り報恩謝徳の意味を顕わすこ
とになります。

宗門総回向

七月十五日

大本山・宥清寺にて奉修

七月十五日(日) 本山宥清

寺に於て、佛立開導日扇聖人

御正当会式が奉修されます。

この開導会に併修して、宗

門総回向が奉修され、当日は

御講有上人を総導師として、

おりやつていても御本意に背
くようなことになり、気の弛
みというか、心が散りやすい
ので、「懈怠の心を起さぬ」と
いう信念を堅持せねばならな
いというのであります。

「霜ヲ履ミテ堅氷来ル」とい

う語があります。霜がふりは

じめたと思ふと、すぐ氷の張

るような厳寒がやってくるの

で、常に油断なくしていな

いといけないのでありま

す。

「信徒の中の謗法は懈怠な

り。懈怠を責め合ふを当講繁

の基本となす。いかに御
法門を知りたりとて、懈怠を
責めぬ人は悪人也。御弘通を
思はぬ人也。其懈怠は友によ
りて起ることあり。我心より
起ることあり。欲の深きと、
信心に勝つ故に、此人は御弘
通の思ひなく、迷ひ第一とす
る人なり。責むべし。(開
化十)と、御指南下されてあ
り、御信心に油断があると、
先づ、自分の信心が怠り勝ち
になり、更に、他の謗法、懈
怠をみても折伏をしないよう

朝参詣強調週間

七月二日～六日

第四、第五ブロックと国分寺

今月の朝参詣強調週間は、

第四、第五ブロックと、国分

寺教区です。

七月二日(月)

三日(火)

四日(水)

五日(木)

六日(金)

立川教区

国立教区

日野教区

京王教区

国分寺教区

清流寺創建

七十周年記念事業

御有志奉納者氏名

(その六)

(教区順、敬称略、順不同)

夏期参詣と夏期供養

七月十五日～廿八日

本年度の夏期参詣は、十五

日(日)より廿八日(土)ま

での二週間実施されます。

例年のとおり夏期供養も受

け付けますので早目の申し込

みを、おすゝめします。

になるといので、日頃の

御信心は懈怠なく、というこ

とを信条としてつとめなけれ

ばなりません。寒くなつて

「霜が降りたナ」と思ってい

るうちに、たちまち堅い氷の

張るような厳しい寒さがやつ

てくるのも事実です。一期

ヲスグルコト程ナシで、

うっかり油断しているとズル

ズル懈怠して、取り返しし

つかない事になるという事を

考えて、ゆるみなく精進させ

て頂くことが、肝心です。